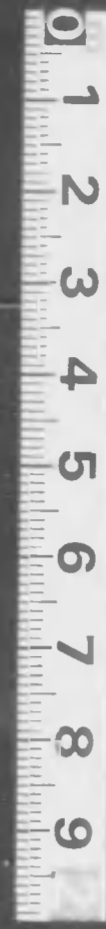


寫眞週報

情報編輯局  
五月廿一日・第六百九十九號・第十卷

第三十六回海軍記念日



東亞の興廢にかけて

軍令部總長 永野修身大將



五月二十七日、われは聖戦下に四度海軍記念日を迎へる。三十六年前のこの日、日本海海戦の決定的な勝利によつて、天壤と俱に窮りない皇國の發展は更に世界的意義を持つに至つた。今や、帝國を盟主として東亞の新しい歴史を切り拓くべく、波は漸く太平洋に高い皇國の興

廢「吾東亞の興廢をかけてこの一戦を太平洋に争ふ日なし」とは決して斷言できないのである。三十六年前日本海に注がれた世界の眼は今太平洋にそして精銳を誇るわが帝國海軍の動向に注がれてゐる。さか巻く怒濤を駆けて立つ巨艦の如き、新軍令部總長永野修身大將の激快な風姿、そこに帝國海軍の不動の決意がうかがはれる。

滿洲事變十周年

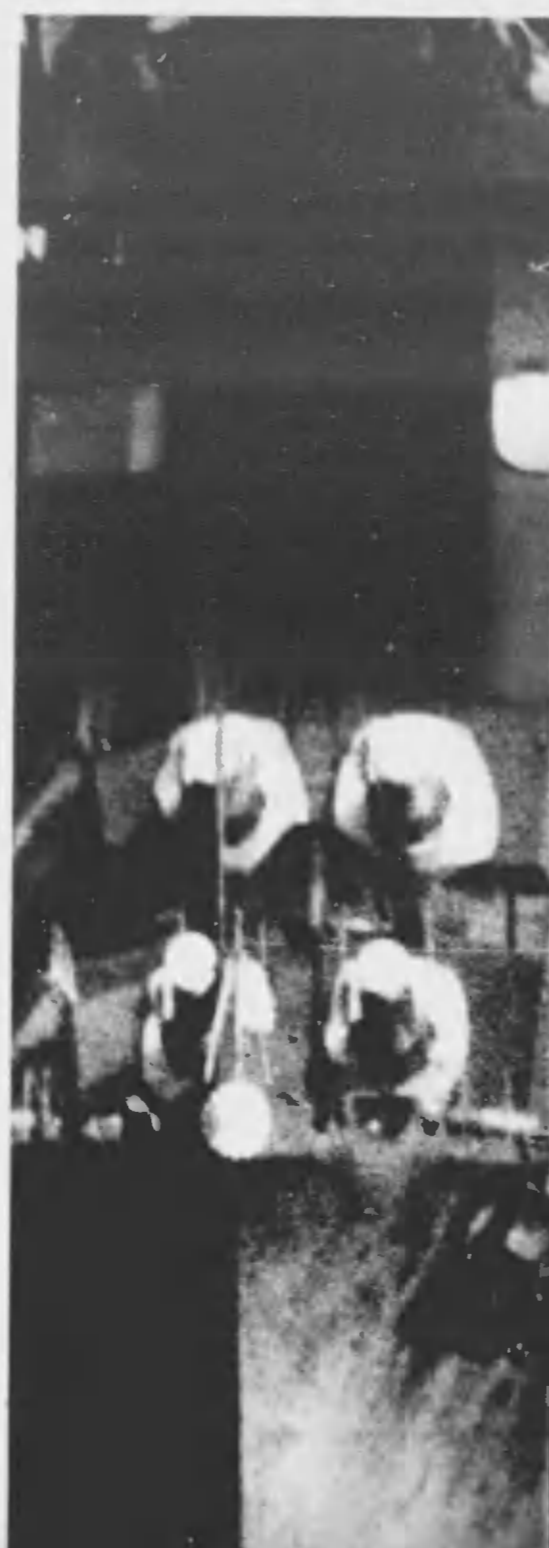
へ 洲滿・地聖の血濺祖父



滿洲鐵道總局

土の祭典・根々祭

# 黒潮を呑む わが艦隊



緊迫變轉する世界情勢をちつとにらんでわが帝國海軍の  
鐵の浮城は、黒潮にしづきをあけて眞剣な演習を續ける。  
黙々何足箱、血の出るやうな訓練を續ける帝國海軍の無言  
の偉容は軍旗に狂奔する敵性國家群のそれと比較して力強

い限りだ  
東洋平和確立の前途にはまた幾多の難關あるを想ふと  
き、太平洋の潮騒を壓して海の護りに鐵壁の陣を布く海  
の精銳の底力には、まことに意義深いものがあらう

撮影 海軍省



# 天空を截る

## わが海軍航空隊

昭和十二年八月十五日、この日わが海の荒鷲は七百二十ミリの低気圧を衝いて初の波洋爆撃を敢行し世界戦史に不滅の足跡を印した。疾風に舞ふ木の葉のやうに、狂れ狂ふ暴風雨と戦ひながら支那海を越えて遠く大陸を席捲し、敵軍據点を殲滅して無事歸還したわが海軍航空隊、われ／＼は何時も新たな感激を以てこの日を想起せざるを得ない。この壮舉によつて支那事變にはつきりとの偉容を現した海軍航空隊は、爾來沿海封鎖にまた上陸

作戦に、更に數十回に及ぶ重砲爆撃、ビルマルートの爆撃など、實に嚇々たる戦果を擧げて今日に及んでゐる。

今や、太平洋の波益々高く一觸即發の危機を孕みまた海軍航空隊の眞の戦場は海洋にあることを思ふ時、われ／＼一億同胞はこそつてその健在を祈つて止まない。ここに紹介したのは最近行はれた浙江作戦に於ける海軍の果敢な爆撃行である。



⇒ 命令一下駆け足で  
機へ

⇐ 身ごしらへを厳重  
にして

⇒ 手を揃つて戦友の  
壯途を送る

⇒ 一糸亂れぬ編隊を組んで

撮影 支那方面艦隊報道部



⇐ 目的地近し！ 全  
員元氣百倍

⇐ 手柄話に微笑む兵  
隊たち





↑  
急速してくる敵の機甲部隊に火筒を浴びせかける大砲放射隊の活躍

↓  
實戦さながらの市街戦。装甲自動車先頭に突込んでくる敵の頭上に手榴弾をたきつける

↑  
装甲自動車に偽装を施して前進命令やおそしと待ちかまへる

↓  
通信隊も出動、部隊本部からの命令を傳へまた刺々變化する戦況を報告する

↓  
春雨にぬれて整列する演習参加の將兵、その堂々たる威容に上海の治安は脅動たしない

↓  
激しい銃聲の中を友軍へ連絡に軍犬は勇敢にとび出してゆく

# 四敵たり上海陸戦隊

皇戦五年、新國民政府が南京に遷都して、新生支那の雄々しい洗滌をあげてから既に一ヶ年の年を數へた。今や支那大陸は無士から建設へ、全くその面目を更めつゝある。しかし、そのかけにはわが在支派遣部隊が日夜警備に、討伐に不斷の努力と犠牲を拂つてゐることを片時も忘れてはならない。ここに、鐵血陸戦隊の名を全世界に轟かした上海特別陸戦隊の最近の威容と苦心の一部を傳へよう。



撮影 支那方面陸隊報道部







## 驚荒の海くたば羽に陸海

### 一、大陸の空縦横に

海軍航空隊は支那事変の始りから、数々の戦役、戦況の進展を決定する重要な役割を果して来た。その中でも、長距離の遠征飛行、大規模な空襲、そして、戦況の急変に際しては、航空隊の活躍が顕著であった。...

支那の地理は、世界の地理と異なり、山岳の険しい地形が、航空隊の活躍の場を提供した。また、広大な領土は、航空隊の遠征能力を高く評価させた。...

航空隊の任務は、戦況の長期化による、後方軍事情報の確保、そして、敵軍の補給線を切断することにある。...

航空隊の活躍は、戦況の急変に際しては、航空隊の活躍が顕著であった。また、広大な領土は、航空隊の遠征能力を高く評価させた。...

航空隊の任務は、戦況の長期化による、後方軍事情報の確保、そして、敵軍の補給線を切断することにある。...

航空隊の活躍は、戦況の急変に際しては、航空隊の活躍が顕著であった。また、広大な領土は、航空隊の遠征能力を高く評価させた。...

航空隊の任務は、戦況の長期化による、後方軍事情報の確保、そして、敵軍の補給線を切断することにある。...

### 二、見よ、下駄履き機

海軍航空隊には、水上偵察機といふ特殊の飛行機がある。浮舟を車輪がはりに履いてゐるので、下駄履き機といふ愛稱を持つてゐる。...

下駄履き機は、水上偵察機を指す。浮舟を車輪がはりに履いてゐるので、下駄履き機といふ愛稱を持つてゐる。...

下駄履き機は、水上偵察機を指す。浮舟を車輪がはりに履いてゐるので、下駄履き機といふ愛稱を持つてゐる。...

### 三、武動に輝く翼のかけこ

海軍航空隊の機動性、また、その小機動性、は、その時の戦況に即して、機動性を発揮する。...

航空隊の任務は、戦況の長期化による、後方軍事情報の確保、そして、敵軍の補給線を切断することにある。...

航空隊の活躍は、戦況の急変に際しては、航空隊の活躍が顕著であった。また、広大な領土は、航空隊の遠征能力を高く評価させた。...

航空隊の任務は、戦況の長期化による、後方軍事情報の確保、そして、敵軍の補給線を切断することにある。...

航空隊の活躍は、戦況の急変に際しては、航空隊の活躍が顕著であった。また、広大な領土は、航空隊の遠征能力を高く評価させた。...

航空隊の任務は、戦況の長期化による、後方軍事情報の確保、そして、敵軍の補給線を切断することにある。...

航空隊の活躍は、戦況の急変に際しては、航空隊の活躍が顕著であった。また、広大な領土は、航空隊の遠征能力を高く評価させた。...

航空隊の任務は、戦況の長期化による、後方軍事情報の確保、そして、敵軍の補給線を切断することにある。...

航空隊の任務は、戦況の長期化による、後方軍事情報の確保、そして、敵軍の補給線を切断することにある。...

航空隊の活躍は、戦況の急変に際しては、航空隊の活躍が顕著であった。また、広大な領土は、航空隊の遠征能力を高く評価させた。...

航空隊の任務は、戦況の長期化による、後方軍事情報の確保、そして、敵軍の補給線を切断することにある。...

航空隊の活躍は、戦況の急変に際しては、航空隊の活躍が顕著であった。また、広大な領土は、航空隊の遠征能力を高く評価させた。...

航空隊の任務は、戦況の長期化による、後方軍事情報の確保、そして、敵軍の補給線を切断することにある。...

航空隊の活躍は、戦況の急変に際しては、航空隊の活躍が顕著であった。また、広大な領土は、航空隊の遠征能力を高く評価させた。...

航空隊の任務は、戦況の長期化による、後方軍事情報の確保、そして、敵軍の補給線を切断することにある。...

航空隊の活躍は、戦況の急変に際しては、航空隊の活躍が顕著であった。また、広大な領土は、航空隊の遠征能力を高く評価させた。...



富永謙吾 (Tomonaga Kenkichi) の作品。お母さんの名案、生め殖せよ、思ひつき奥さん、山木たか。

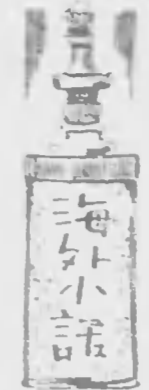




しやせんしうほう  
問答

【問】産業振興會の編領が二つあり私達は宛真送報四月十六日誌に掲載されてゐない方を朗讀してをりますかとちらかよいのですか  
（町見 人）

【答】大日本産業振興會の編領は昨年十一月本會結成の際にその旨を宛真送報に載せられたが、宛真送報の編集方針により、産業振興會の編領は本會結成と共に宛真送報に掲載されず、その旨を宛真送報に掲載された。今後は必ず宛真送報に掲載されるものとする。と云うことである。



金の喰る米國銀行

世界の金融をめぐりに権を握る米國銀行の勢力が、最近ますます強くなつて來てゐる。その代表として、米國銀行の代表者として、ロンドンに來た。その代表者は、米國銀行の代表者として、ロンドンに來た。その代表者は、米國銀行の代表者として、ロンドンに來た。

【問】石油、カソリン、ベンジンは原料や用途の點でそれぞれどうちかふのてせうか  
（大日本産業振興會）

【答】カソリンはガソリンの一種で、ガソリンの原料となる。カソリンはガソリンの原料となる。カソリンはガソリンの原料となる。

【問】ロンドン上戸の嘆き  
（ロンドン）

本の上戸は、最近の世情に對して、嘆息を吐いてゐる。彼等は、日本の金融政策に對して、嘆息を吐いてゐる。彼等は、日本の金融政策に對して、嘆息を吐いてゐる。

戦争と結婚

【問】今度てきた日佛經濟協定の條文に最惠國待遇といふ言葉がありますかとなんことを指していふのてせうか  
（ロンドン）

【答】最惠國待遇とは、一國が他國と締結した條約に規定する利益を、他の國にも適用することを指す。これは、一國が他國と締結した條約に規定する利益を、他の國にも適用することを指す。



國の技輸出

伊藤情報局長裁交外團招待會

土儀の眞實な振舞をお見せませうと伊藤情報局長は五月九日在京各國の大公使をけじめ家族、館員、新聞特派員等三百餘名を大相撲真摺所に招待しました。初日に沸きかへる兩國國技館の機軸には今日一日、祖國の緊迫感を忘れて和氣霽々の國際親善風景を展開、萬餘の觀衆の人氣を集めました

- 1 伊藤情報局長中央とクラレ
- 1ギ一英大使(左)ルー米大使(右)
- 2 オット獨大使(左)
- 3 華やかな國際色をたよはす大相撲初日
- 4 お得意のカメラを持ち出して特派員中國大使



千古不朽の名著  
草葉大尉 著  
口高地  
東京四谷坂本町 齋藤書房  
推薦・班道報軍東關・部道報省軍陸・省部文



鐵骨の車輛の下から粘土質の土壌は三、四寸の深さに掘りおこされてゆく  
 クラック式、ロータリー式、クランク兼用式の各トラクターがそれ／＼の性能を競演する

# 農村機械甲



出揃った農の機械化部隊



どの程度に掘られたか——各トラクターの深耕度が測られる



この爪車が旋轉しながら起と碎土を同時にふる

兵庫縣 影 上 段

農村の勞力不足はやうやく深刻になつてきたが、それにもかゝらず食糧の生産はできる限り擴充されなければならぬ。この矛盾を解決して、戦時日本の兵站部のお役に立派に果すためには、農村は昔から一向に變らぬままの農業の經營を合理化しなければならぬ。これにはまづ機械力によつて人手不足を克服し生産を擴充することが考へられる。事實日本の農村はいまこの機械化の方向に再出發しようとしてをり、とくに岡山、兵庫兩縣下などではすでに數年前から實地に耕耘機を使って所謂機械法を實施し、いづれも大きな効果を収めてゐるが、兩縣ではこのほど農會主催で、勞力不足の補強策として、さらにその普及と効果を全國一般に徹底させるため、耕耘機の實演會を開催した。

軍の強化には機械化が第一であるが、農にも機械化が實施されなければいつまでもそこに進歩はない。國家總力戦にも農だけが立ちおくれることになる。おくれはせながらいま農法の機械化が叫ばれてきたことは、たしかに農村の新體制といつてよく、こゝに紹介する試みなども、農の機械化とは全く無縁であると信じられてゐた小農制下の日本農業にとつて、それは正に歴史的意義をもつものであつてその全國的な成果には大きな期待がかけられてゐる。

岡山縣 影 下 段



試運転——モーターをかけたとき、ドッドと速い運動がはじまつた。このトラクターは全く日本のものなので、その構造は左右兩輪をもつた鐵骨車輛に三馬力程度の發動機を載せ後部の爪車を旋轉しながら自動的に進行する。トラクターは馬牛(耕)に比べて殆んど十倍の競争をあげることができる——耕耘の比較實績

# 隊部



# 隊設建灣臺の代次



新しき臺灣建設の希望に燃えて

山の訓練所は臺中州霧社奥地五キロの地點にあつて、十年前の霧社事件はここへやら、今は山の空氣みちる平和境となり、櫻の名所となつてゐる。至るところに高位段丘があり、黄金が埋つてゐる。青年たちはあらゆる艱難を克服して霧社から富士に至る十三キロあまりの産金道路開鑿に奉仕してゐる。

次代の推進勢力となるべき青少年の錬成は刻下の急務であるが、臺灣總督府では昨春來青年隊に新展開を期すべく、勤行報國青年隊を創設した。二十歳前後の木島青年に對し、勤勞奉仕、生活訓練により、日本精神の體認をせしめるとともに、その心身を錬成して皇民たる資質を完成せしめようといふのである。そしてこの勤行報國青年隊の訓練所はまづ三月末高雄に設けられ、二百名の隊員が二ヶ月間二回にわたつて炎熱をもとめせず、大排水路や道路新設に挺身して臺灣青年の意氣を發揚した。



全島各州國から選ばれた青年達は、青年隊で更に嚴密なる身體検査を受け、やつと入隊を許される。隊服を身に纏ひ、勤行の隊章を戴いた青年達の顔は、南進日本の將來のやうに、はれはれと輝いてゐる。



青年隊では朝夕指導員と隊員とが神前に集ひ、神拜の後祈りの詞を申し上げ、六百萬の同胞が皇國精神を發揚して八紘一字の大精神を發揮しようとする。

また昨年十二月中旬からは臺中州霧社に臺中訓練所が設けられ、二百名の隊員が、斷崖深谷を通する産金道路を開鑿してゐる。この道路は將來花蓮港に通ずるもので、産業上重要性を擔ふものである。更に本年一月中旬から臺灣神社の大前の臺北訓練所では三百名の隊員が、同神社御造替工事に奉仕して敬神の誠を發揮してゐる。なほ昭和十六年度に於ても臺北、臺中等三ヶ所で、三百名宛、各所共三回、勤行を續行して皇民錬成に邁進する計畫である。



攝影 臺灣總督府

臺北の訓練所では、靖家の宮嶺りまず臺灣神社御造替工事に、向ふ數年間引續き勤勞を奉仕するのである。今は三百名の隊員が大排水路掘鑿工事に炎熱を冒して懸命に奉仕してゐる。





誌グンツィアツ・テルーリスルイのソルケ



誌グンツィアツ・テルーリスルイ



紙セップ・テルーリスルイのンヘンユミ

# 軍海國帝たれさ紹介にツイド

會協真寫 題



誌クンフスクルヨフ



誌クンツィアツ・テルーリスルイ・エイノ

世界を日輪伊勢船と英米デモクラシー陣營とに分けると、船輪伊勢船の軍力保持するの目的は、海軍である。

第一次世界大戦以来、海軍の重要性を徹底的に認識されてきたドイツが、今、官民ともに同調日本の精神なる海軍に傾いていく傾向の念をよめてゐるのには當然すぎるほど當然であらう。ドイツのこの心理は、ドイツの新聞雑誌にも非常によく反映されてゐる。その證據には日イ海軍の寫真とあれば、それがほんたうのものであらうとも、ドイツのジャーナリズムでは引つぱり風の吹流である。同じ寫真があつたとしても、ドイツのジャーナリズムでは引つぱり風の吹流である。同じ寫真があつたとしても、ドイツのジャーナリズムでは引つぱり風の吹流である。同じ寫真があつたとしても、ドイツのジャーナリズムでは引つぱり風の吹流である。



誌トナマチイト





伸びゆく国には  
**病氣は敵だ**  
 減らせ病人  
 増やせ国力



**丈夫な躰が  
 モノ言京時代**

笑顔で、健康で、毎日  
 を過せるよう…脂肪性の榮養「ハリバ」  
 を連用して病氣に負けぬ強い抵抗力を培ふことです。

ハリバは「油塊のま」の濃厚ADを十幾層の糖衣に包んだ小粒で、一日二―三粒、體位向上の保衛劑として好適です。

百粒三圓五十錢  
 五百粒十圓五十錢

東京・大阪 田邊商店

内閣印刷局印刷發行

東京新聞 昭和十六年二月十七日 第三版 東京新聞 昭和十六年五月十一日 第一版 東京新聞 昭和十六年六月十七日 第六十七號

(列傳紙張)・A4規格定幅はさき大の書本